

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

骨髄異形成症候群 (MDS)の診断における AI の有用性と遺伝子変異の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月1日から2023年12月31日に昭和大学病院藤が丘病院で骨髄生検検査を行い骨髄異形成症候群と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

骨髄異形成症候群は骨髄の造血幹細胞に異常が起き、正常な血液が作られなくなる病気です。骨髄穿刺という検査で骨髄組織を採取し顕微鏡で調べる病理検査が診断にとって重要です。しかし骨髄異形成症候群の病理検査は人間の眼では判断が難しいことがあり、AIによる正確な評価をする事が注目されています。またAIの病理検査の技術は発展途上であり、診断に役立つプログラムの開発を今回目指します。

病理検査で骨髄異形成症候群と診断された病理の標本をバーチャルスライドという技術で画像データ化しAIに評価させ、画像解析技術を専門とした株式会社 milk に研究業務の一部を委託し(役務提供)、共同研究を行い、AIプログラムの開発を目指します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究目的を達成するために、患者さんの性別年齢、診療録に記載された背景や既往歴、臨床経過、臨床診断名、病理組織写真、病理診断名を使用します。

AIが正しく骨髄異形成症候群と診断できるか、診断に必要な所見を正確に拾う事が出来るか、所見が似た他の血液の病気と間違えないかを評価していきます。

5. 外部への試料・情報の提供

株式会社 milk に対し業務委託するにあたり、病理組織画像の提供を行います。

6 . 研究組織

研究責任者	昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科	医師・助教	上田 康雄
分担研究者	昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科	歯科医師・助教	和田 あかね
	昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科	医師・特任教授	楯 玄秀
	医学部 臨床病理診断学講座	医師・教授	矢持 淑子
	昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科	医師・准教授	小川 高史

業務委託

株式会社 milk 代表取締役 CEO 中矢大輝

委託内容 病理組織写真の画像解析及びデータ管理

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学藤が丘病院臨床病理診断科

氏名：上田康雄

住所： 横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号： 5960 (内線)